



くりや てんか
栗谷 天花
平成19年10月生
阿仁合小5年

私の年がやってきた

まことにまっていたいのしし年がやってきました。4月からは、学校のリーダー6年生になります。私の将来の夢は、中学校の国語の先生になることです。私は、物語を読む時、想像を広げ主人公になりきって読むのが大好きです。また、私は1年生の時から習字を

習っていて、字がていねいに書けるようになったし、集中力もつきました。習字の楽しさをみんなに教えてあげたいと思います。夢をかなえるために、今年がんばりたいことは、たくさんありますが一番がんばりたいことは、自分がお手本になって全校のみんなを引っ張っていくことです。指示するだけではなく、自分から率先して動けば、それを見て他の学年もがんばってくれると思います。周りをよく見て行動できる6年生になりたいです。いのしし年がすてきな一年になるようにがんばります。



ほんじょうや みう
本城谷 海優
平成19年4月生
鷹巣東小5年

目指せ！獣医

私の将来の夢は、獣医になることです。私は、犬を飼っています。名前は「ララ」。ララの元気がなく、いつもと違う様子の日がありました。どうしたんだらうととても心配しました。獣医になれば、ララの気持ちや体

調が理解できるようにとなると考えました。ララを連れて動物病院へ行くたくさん動物がいます。ララのように大きな犬、小さなハムスター、びくびくおびえている猫。犬だけではなく、他の動物のことも動物の立場になって助けてあげられる獣医を目指しています。動物達も人間と一緒に仲良く快適に過ごしていけるよう、そして、飼い主さんも家族の一員である動物の病気が治って笑顔になれるよう手助けしていきたいです。夢に一步步近づけるよう努力します。



ちば うぶか
千葉 羽舞華
平成19年6月生
鷹巣南小5年

笑顔にするデザイナー

私の将来の夢は、デザイナーになることです。なりたいたいと思った理由は、親や友達に「手が器用だね」「絵がうまいね」と言ってもらえることが多いからです。友達の前で絵をかいたり、何か物を作ったりした時に「うまい」「上手」と声をかけてもらおうと、

心からうれしくなります。そのうちに私は、いろいろなことにチャレンジしてみたくまりました。洋服やキーボードのデザインをしたことと考えるようになりました。いろいろな勉強をしたり、経験を積んだりして、りっぱなデザイナーになりたいと思います。みんなに気に入ってもらえるデザインを考えられるように努力します。そして、私の考えたデザイナーの商品を買ってもらい、その商品で買った人を笑顔にしたいです。その笑顔を宝物にして働いていきたいです。



こばやし さくら
小林 さくら
平成19年10月生
合川小5年

わたしの夢

わたしの将来の夢は、理学療法士になることです。私は股関節をけがしてしまい、バスケットボールの大事な大会に出ることができませんでした。今もリハビリに通い治療しています。リハビリ科に入ると、温かくて安心します。どの先生も必ずあいさつしてくれ、

声をかけてくれるのでうれいです。周りを見ると、話をしながら足をマッサージされている人、リハビリの先生についてもいろいろな歩けるように努力している人などたくさんいます。痛いことも多いはずなのに、みんな笑顔で笑い声も聞こえてきます。わたしを担当してくれる先生もいつも笑顔でわたしがよくなるように考えてくれます。わたしはこの仕事に魅力を感じました。夢を実現するためにこれからも勉強をがんばりたいです。そして一歩一歩夢に近づけるように努力を続けます。



おだ こうせい
織田 恒星
平成19年9月生
前田小5年

人を笑顔にする仕事

ぼくの将来の夢は、料理を作る仕事につくことです。きっかけは、お父さんと一緒に夜ご飯を作ったときに、家族のみんなが「おいしー」と言ってくれて、笑顔になったことがうれしかったからです。それから、いろいろな料理を作りたと思っています。お父さんに教えて

もらって作るようになりました。サラダやスープを作りました。料理を作っていると、作ることでどんどん楽しくなりました。また、民宿をしているおばあちゃんが作った料理を、おいしそうに食べているお客さんの姿も見たことがあります。ぼくは将来、自分のお店を開き、お客さんがびっくりするようなおいしい料理を作って、みんなを笑顔にしたいと思っています。そのために、今からお父さんやおばあちゃんに料理の基本を教わってもらって、作れる料理を増やしたいと思います。



あさの ゆうた
浅野 佑太
平成19年4月生
鷹巣小5年

命を助ける消防士に

僕の将来の夢は、消防士になることです。きっかけは、東日本大しん災で人命救助をしている消防士の方々の姿を見て感動し、僕も人を助けたい、命を守る仕事したいと思ったからです。去年4年生の授業で、消防署を訪問し、仕事の説明を聞いたり、

訓練の様子を見学したりしました。24時間、僕たちの命と安全な暮らしを守ってくれる大切な仕事だということを知りました。消防士になるためには、体力、学力、強くて優しい気持ちが大切です。高い所をロープでつな渡りするなどの訓練の様子を見て、体力だけでなく、気持ちも強くなければいけないと思いました。これからは、勉強と部活の野球で心と体を鍛えてがんばりたいです。火事や災害で、たくさんの方が亡くなっています。消防士になって、一人でも多くの命を助けたいです。



くしま あんり
九嶋 杏凜
平成19年6月生
米内沢小5年

看護師になりたい

私の将来の夢は、看護師になることです。私のお母さんは病院で働いています。お母さんの毎日のがんばりを見てみると「かっこいいな」と思います。お母さんはいつもにこっと笑顔で苦しんでいる人を助けています。私がかぜをひいた時には「だいじょうぶ？」と

やさしく声をかけてくれるので、そのおかげで元気になります。その姿にあこがれ「私も人を助ける仕事をしたい」と思うようになりました。看護師になるためには、たくさん勉強することが必要です。6年生になると勉強がむずかしくなります。今以上にたくさん復習をしていきたいと思っています。最高学年として下の学年のお手本となるように行動し、お母さんのように大変なことや辛いことがあっても、いつも笑顔でいられるような一年にしたいと思っています。



はたけやま ちかと
島山 知香
平成19年5月生
鷹巣中央小5年

夢をかなえるために

ぼくの夢は、プロ野球選手です。小学3年生の時に、父にすすめられて野球部に入りました。はじめはルールも何もかも全然知らなかったけど、とりあえずやってみようとして入りました。でも、やっていくうちにボールを打つことのおもしろさに出合いました。

今、ぼくは夢に向かって、自主トレーニングをしています。家でかべ当てをしたり、すぶりをしたり、たまに友達と野球をしたりしています。スボ少では、学校の階段50周とかこくなトレーニングがあり、つらい時もあります。そんな時は、あきらめない気持ちをもって、最後までやりぬきます。将来は、中日ドラゴンズの根尾昂選手のような走攻守の三拍子そろった選手になりたいです。そして、応えんしてくれる人たちを笑顔にしたいです。